

地域課題の解決に向けた取組

～留萌北部地域における 伐採系森林整備の促進に向けた取組～

留萌北部森林管理署

一 取組

留萌北部森林管理署では、管内の民有林の多くが、造林・保育による資源の造定期から本格的な資源の利用期を迎えようとしているなか、地域林業の活性化を図るために、どのような取組を行えば良いか、地域の林業関係者の皆さんと意見交換を行ってきました。



民有林関係者との意見交換会
(署会議室)

このなかで、地域の林業関係者から「民有林では、ここ十数年、林業活動の主体が育林作業であり、高性能林業機械の導入も進んでおらず、発注者・事業者ともに木材の生産・販売事業に関するノウハウの蓄積が少ない。このため、今後、どのように事業の発注・管理及び木材販売をしていけば良いか情報提供をお願いしたい。」との要望がありました。

そこで、当署では、留萌振興局森林至天塩事務所と連携しながら、国有林の事例を通して事業発注や木材の生産・販売に係る工程を紹介し、民有林関係者の生産・販売に関するノウハウの習得に協力していくこととしました。



民有林での施業技術検討会
(天塩町町有林)

二 民有林における生産事業の現状把握

当地域の民有林における間伐事業では、その多くがヘクタールあたり間伐補助金単価に面積をかけて事業費を算出し発注を行っており、すでに利用期に入っている森林であっても、木材販売収入を見込んでいないといった状況が見受けられました。

そこで、関係者と協力して地域の林業事業者が、十分に低いコストで木材生産を行う能力

があるかどうかを把握するため、現在実施している作業システム、間伐の生産性などを調査することとしました。
その結果、収益性を求めるには厳しい状況にあり、今後、地域の林業事業者の能力を踏まえた事業方法、事業箇所の選定について検討していく必要があると思われました。

三 生産・販売事業に関する ノウハウの提供

このような状況のもと、当署では国有林で採用している作業システムを紹介するとともに、民有林で実際に間伐を実施した箇所について、高性能林業機械を導入することにより、生産性がどの程度向上するか作業システムことに提示し、今後の事業発注等に当たっての検



署職員による工程管理システム講習会

討資料を提供したことです。
今後、間伐材の販売に関しても、国有林の状況等について情報提供していくことといたします。
また、個々の林業事業者に対して、現在普及を進めている「工程管理システム」を使って、間伐を実施した箇所における生産性の実績数値を示し、具体的な作業システムの改善方策の検討材料として提供しました。

四 おわりに

現状で、当地域の林業事業者の規模、体力を考えると国有林で導入している作業システムをそのまま事業に持ち込むことは難しい状況ではありますが、地域の林業関係者の間では、高性能林業機械を用いた作業システムを導入する必要性は認識されているように思われます。
当署においては、今後とも地域林業の発展のため、地域の林業関係者と定期的な意見交換を行いつつ、国有林の持つ様々な事業ノウハウを提供するなどしながら、地域林業の課題の解決に貢献していきたいと考えています。